

地域と共に生きる文殊っ子

福井市文殊小学校



「文殊の火祭り」20年目の登山開始

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	13回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー 31人、授業ボランティア 32人

登下校支援ボランティア 30人、その他 2820人

(3) 特色ある活動 ① ふるさと教育 PTA・地域と連携した「文殊の火祭り」

文殊小とPTA・地域が合同で実施している「文殊の火祭り」は今年度20周年を迎えた。6年児童は、20年の歴史を映像記録やインタビューからふり返り、当日第一部で発表した。地域の方々・学校・文殊校の先輩たちの思いや願いをくみ取ることで愛校心や地域への思い、継続していく気持ちがさらに高まったようである。また保護者や地域の方々もその思いを子どもたちの発表から知ることが出来、感嘆の声を上げていた。6年生全員が山頂で伝える「将来の夢」や学年発表は毎年多くの人びとを魅了。全校児童の表現力と自信が育つ行事である。今年度文殊校PTAは、文部科学大臣表彰を受けた。

② 健康教育 地域の達人を招いておこなう「福井地場産野菜を使った料理教室」

足羽一中校区の健康教育部会では、歯みがき指導と口腔健康教育に力を入れている。それを受けて今年度は、地域の達人をゲストティーチャーに招き5年生対象に歯と体によい福井地場産野菜を使った料理教室を実施した。保護者の方々にも、実習に参加していただき、親子で研修できた。



幼小交流活動



地場産野菜の料理教室



図書ポによる手作り紙芝居

2 成果と課題

多くの方に教育活動に参加していただいたおかげで、低学年の子どもたちには、「自立を促す・自信がもてる」、高学年の子どもたちには、「やる気や意欲の高まり、地域の方々とのつながり」をより一層深めることができた1年となった。また今年度は、地域の方々だけでなく、民生委員の方にも学校行事の案内を送り、参加していただいた。いろいろな手立てや方法を工夫して、子どもや孫が学校に通学していない家庭も学校行事に巻き込み、さらに多くの応援団を作っていきたいと考えている。